

「この一年で、私が変わったこと」

宝彩有菜

毎年、毎年、季節は繰り返されますが、実は、何一つ昨年と同じものはありません。桜の木も年輪を着実に一年増やしています。桜の花を見る人も、歳を一年加えています。だから、世は無常だというわけです。でも、考えて見ればそれが常ですね。つねに、移り変わっていることが、常態なのです。

銀河系も地球も、広がりゆく宇宙の中で、秒速何百キロという猛スピードで外に向かっているそうです。太陽の周りを同じ軌道で回っていると、思っていました、螺旋のように外側に向かって移動しているのですから、二度と同じ軌道を回ることはないのです。宇宙的にも、同じ春などないということです。でも、まあ、見た目は、嬉しいことに、同じ穏やかな春ですけど。

さて、今月号のテーマは、「この一年で私が変わったこと」です。修行を始めると、修行を始める前には、10年間くらい時間がかかって起こることが、わずか1年間で、しかも次々に起こってきます。ですから、今回、「この一年で私が変わったこと」というテーマで作品を書こうと思うと、1年間で変わったことが、たぶん沢山ありすぎて、どれをテーマに書こうかと迷うほどではないかと思えます。そして、どの変化も、いずれの変化も、必要があって起こり、時が来て起こり、宇宙の運航で起こり、また、修行の進捗状況で起こり、さらにそれらの相互作用で起こっています。

修行が進み始めると、人生で滞っていたことも、流れ始めます。例えば、とても単純な疑問、「あの人は私を好きなのだろうか、どうだろうか」というのも、3年間くらい、聞いてみる勇気が出ないまま、毎日、その疑問をじっと持ったままで過ごすこともあります。しかし、修行をし始めると、色々な拘りや、何かのプログラムが取れてきますから、「まあ、どっちでもいいのだけれど、一応、この際、聞いてみよう」と、気軽に聞けたりします。結果がOKでも、OKでなくても、人生は、確実に前進します。というか、修行を始めると前進する勇気がでますので、聞くことが出来る、と言ってもいいかもしれません。

あるいは、10年間ずっと努力してきたことや、継続したこと、キープしてきたことなどを、自分の人生の舵を切るために、思い切って捨てることもあります。修行し始める前は、「目標はあるのだが、なかなか上手くいかないが、きっと、もっと努力しなければ駄目なのだろう。きっと私の努力が足りないのだ」と頑張り続けます。しかし、本心では、薄々、「私は本当はこの道は進むべき道ではないかもしれないなあ」と思っていたとしても、「でも、いまさら、諦められない。そんな負け犬になることはできない」と、さまざまな、欲や、こだわりがついて、それに執着している場合があります。でも、修行を始めると、自分の欲や拘り、本当の幸福や、本当に進みたい人生などがはっきり見えてきますから、すぐに「私は、何を、馬鹿なことを、いつまでもやっているんだろう。もう、やめよう」と、あっさり、捨てたり、止めたり、変更したりすることができます。すると、新しい人生がまたダイナミックに進み始めます。

それらの、人生における、変容や、変化は、とても良いことだと思います。リスクがあってもどんどん前に進むのが、正解だと思います。毎年、桜の花は咲きますが、去年と同じ花ではないのです。そして、気前よく、一旦、全部捨てるから、新しい花を咲かせる事が出来るのです。一年という期間は、ちょうど、そのような見直しにとっても良い期間ですね。さて、今回のテーマ、はたしてどのような作品が集まっているでしょうか。楽しみにしてください。

いっぱい咲かせて、捨てて、
いっぱい咲かせて、捨てて、
そして、
また、いっぱい咲かせる。それが人生です。

